

肛門残して、癌を断つ!

ワインとゴルフも得意なダンディ、
遠藤健先生が語る

患者さんの全てに配慮した
包括的大腸癌診療。

開業医の先生から患者さんまで、
渋谷・城南地区の皆さんの遠藤先生への信頼は厚く、
毎年200例とたくさんの大腸癌患者さんが
遠藤先生の手術を受けてこられました。

特に、肛門を温存し、かつ癌を根治させるエキスパートとして、
多くの直腸癌患者さんに感謝されています。

受講者
募集中



vol.4

お茶の水フォーラム

専門家だけでなく一般の方にも参加していただける学術・芸術・文化講演会を「お茶の水医学会館」にて開催しています。

お茶の水フォーラム

第4回 学術講演：大腸癌治療最前線

—大腸癌治療の現況と QOL 重視の直腸癌肛門温存手術—

講師

蓮田病院 院長 遠藤 健 (医23・昭50卒) Takeshi Endo
大腸肛門外科部長



日本人の死因の第1位は癌です。なかでも食事の欧米化等に伴い、大腸癌は年々増加傾向にあり年間約12万人の方がこの病気に罹り2015年の統計で癌部位別罹患率は1位、癌による死亡数は女性で1位、男性で3位と報告されています。しかし、手術、化学療法、放射線治療等による集学的治療の進歩により同年齢の健康人と比較した場合の5年生存率は7割と治療効果の高い癌でもあります。大腸癌治療の現況と下部直腸癌に対する永久的人工肛門(元の肛門は切除されます)を回避した肛門温存手術について、解説させていただきます。

2016年9月10日(土)



会場/お茶の水医学会館 9F (文京区湯島1-5-34 東京医科歯科大学3号館隣り)

時間/16:00~17:30 (開場15:30)

対象者/同窓会員、会員家族、大学関係者、本学学生、一般の方

会費/1,000円(ドリンク付き)

定員/50名

申込締切/2016年8月30日(火) ※定員になり次第予約終了

遠藤 健
略歴

- 1975年
・東京医科歯科大学医学部卒業
・同大学第2外科学教室入局 (1976年~1978年)
新潟県立十日町病院勤務
- 1979年
・日本赤十字社医療センター 外科勤務
- 1988年
・学位取得(第2外科)
・学位論文「大腸癌における組織 Carcinoembryonic antigen の研究」
- 2007年
・日本赤十字社医療センター 大腸肛門外科部長
- 2010年
・日本赤十字社医療センター 副院長(2015年3月退任)
- 2015年
・顕正会 蓮田病院 院長 大腸肛門外科部長として赴任

主催：一般社団法人 東京医科歯科大学医科同窓会(イベント企画委員会)

TEL: 03-5689-2228 FAX: 03-5689-2229

<http://www.ochanomizukai.gr.jp/> E-mail: ikadoso@ikadoso-tmdu.jp

〒113-0034 文京区湯島1-5-34 お茶の水医学会館7F ★詳細はHPの「イベント情報」をご覧ください

お申込み
お問合せ先

